



MONTHLY NEWS

京都画廊連合会ニュース

THE KYOTO GALLERIES FEDERATION OF ARTS

2015
4月号
No. 480

現代美術のハードコアはじつは世界の宝である展 —ヤゲオ財団コレクションより—

と き / 3月31日(火)～5月31日(日) 10:00AM～5:00PM
と ころ / 京都国立近代美術館 (5/4以外の月曜休館)
京都市左京区岡崎公園内 ☎075-761-4111

本展は、台湾資本の世界的電子機器メーカー、ヤゲオ・コーポレーションの会長、ピエール・チェン氏が四半世紀にわたり収集した現代美術コレクションを紹介するもので、フランシス・ベーコン、ザオ・ウーキー、アンディ・ウォーホル、ゲルハルト・リヒター、杉本博司、蔡國強、ロン・ミュエク、ピーター・ドイグ、マーク・クイン(以上生年順)など、現代美術界を代表する作家の作品を約70点展示。それらの中に、サンユウ(常玉)など日本ではあまり知られていない中国・台湾の作家の作品が含まれているのも、台湾人ならではの視点を感じさせるのがこのコレクションの特徴のひとつ。

今回展示される作品は、まず市場価格的に「世界の宝」と目される。最近のオークションでは、存命のアーティストの作品が数十億円という金額をつけることもあり、そうした作品がいくつも入っている。結果、保険評価額の総額は驚くほど高額。それらは美術史的な意味でも「世界の宝」といえる。アートの歴史を踏まえつつ、今を生きる私たちともリンクしているそれらの作品は、様々な情報が溢れかえる現代においてかけがえのない光を放っている。



ウィリアム・デ・クーニング
「無題V」1975年



マーク・クイン
「ミニチュアのヴィーナス」
2008年

桃山時代の狩野派 永徳の後継者たち

と き / 4月7日(火)～5月17日(日) 9:30AM～6:00PM
と ころ / 京都国立博物館・明治古都館 (5/4以外の月曜休館)
京都市東山区東山七条 ☎075-541-1151

今年2015年は大坂の陣からちょうど400年にあたる。豊臣から徳川へと天下の趨勢が一変したこの出来事の前、武士はもとより、絵師もまた熾烈極まる生き残りをかけた戦略を繰り広げた。とくに権力者と密接に関わってきた狩野派にとって、この時期は棟梁・永徳の死やライバル・長谷川等伯の台頭、来るべき新時代の覇者の見極めなど、一門にとって最も苦しく、また難しい判断を下さねばならない激動の時代だった。本展覧会は、狩野派史上最大のピンチにおちいった慶長年間前後に着目し、永徳没後、豪壮から華麗へ、さらに新たな為政者・徳川家に対応すべく、瀟洒淡麗へと画風を変えていく一大転換の過程を、永徳の後継者たちの作品を一堂にして辿るものである。「桃山後期」に焦点をあてた狩野派の展覧会としては、過去最大規模となる、国宝1件、重要文化財23件、重要美術品1件、新発見(北野社頭遊楽図屏風)などの初公開作品3件を含む69件を出品し、百花繚乱のごとくその才能を花開かせた狩野派絵師たちの競演と戦いの歴史を紹介する。



狩野山楽「唐獅子図屏風」(京都・本性寺蔵)

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111	現代美術のハードコアはじつは世界の宝である展 ヤゲオ財団コレクションより (3/31～5/31)																															
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151	桃山時代の狩野派永徳の後継者たち →5/17															雛まつりと人形 →5/31																
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	祇園祭-孟宗山の名宝-(~4/5) 世界考古学会議京都開催決定記念 近世京都の考古学者たち (~4/19) 聖護院門跡の名宝-門跡と山伏の歴史- 紅板締-庶民の生活を彩った染織-(4/24~7/12) (~5/10)																														
	3F	みやこ 京を描く-洛中洛外図の時代- (3/1~4/12)															琳派400年記念 日本画・工芸 京に生きる琳派の美 →5/17															
	4F																															
	5F	徳田嘉孝作品展					第23回光勲能面會展					萌葱会染色作品展					超京都 artkyoto 2015					吉川蕉仙 の書 →5/6										
	6F	第28回 面風會展 能面・狂言面					日本画春季光女展 京都創造藝術協会展					素敵なクラフト展 素敵なニット展					面匡会主催 京都能面展					染織 光悦 會										
別館	PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015 →5/10																															

会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1				
				水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金				
京都市美術館 左京区岡崎公園内 771-4107	本館	PARASOPHIA：京都国際現代芸術祭2015																																				→5/10
	別館																																					
京都府立文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	1F	第39回 Q人の作品展 (美術総合)				日本写道協会 第5回写真展				第57回 自由美術 京都作家展				京都二紀展 (洋画)				33回 染翔会展				→5/3																
	2F	第47回 墨人関西展 (書)				又玄社 水墨画展		京都医家 芸術展		銀瓜会日本画展				京都二紀展 (洋画)				ヌフ (美・工)				→5/3																
	3F	紫苑の会 作品展 (洋画)								第21回 紫芳会書展				桑の実会展 (日本画)																								
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007	企画展「没後40年 堂本印象名品展」 「京都市立銅鑪美術工芸高等学校ゆかりの作家たち-京都日本画の源」												三輪晃勢-色彩の歓喜								→6/14																	
何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側 525-1311	何必館で観る・現代美術展 (月曜休館)																																				→5/31	
高島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画廊	柴田良三 染付作陶展 喜寿記念 樋上さや子展 (染色)				西野陽一展-竜宮'15- (日本画)				京の色絵磁器 三浦竹泉展				伝承から伝統へ 陶徳澤光則展 福島一二三展 (洋画)				福王寺一彦展				→5/5																
	グランドホール					遠藤湖舟 写真展「天空の美、地上の美。」												ミッフィーワールド				→5/11																
大丸 中京区四条高倉 211-8111	画廊	琳派400年記念祭 琳派につどう 屏風の美展				はじまる 楠堂葵水彩画展				美しき日本の風景を描く 川島未雷 油彩画展				九鬼三郎 油彩画展				ディズニーアーフェア				→5/5																
	ミュージアム	岩合光昭写真展 ねこ歩き																																				
中信美術館 上京区下立売油小路東入 417-2323	京都中央信用金庫所蔵品展 (月曜休館)																																				→5/17	
並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277	並河七宝の匠たち																																				→7/12	
美術館「えき」KYOTO JR京都伊勢丹7F 352-1111	春が来た！ 今森光彦 自然と暮らす切り紙の世界												くまのプーさん展												→5/17													
会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1				
				水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金				
アートギャラリー北野 中京区三条河原町東入 221-5397																																					→5/17	
	アーツスペース虹 三条通上都ホテル隣 761-9238	申芳礼				森本紀久子展				白杵春芳				やなぎみわ								→5/17																
アーツスペース東山 東山区三条神宮道東入 751-1830	近藤慧子展				斉藤卓治・斉藤健輔 紙の昆虫たち展				第5回 増田力也個展				Pommierの仲間達… 絵画展								→5/3																	
	Art Spece MEISEI 中京区寺町竹屋町上ル 744-0122	八幡朋子展 (洋画)				森田郁子展 (日本画)				"parfum du parfum" 京都嵯峨芸術大学Perfume Art Project (現代アート)																												
アートギャラリー博宝堂 左京区岡崎神宮道東側 771-9401					ダニエル・ケリー展2015 (月曜休廊)				常設展 (月曜休廊)																													
	綾小路ギャラリー武 下京区綾小路高倉東入ル 351-4787					プロキガ展Ⅲ				小島祐一展																												
イムラ・アート・ギャラリー 左京区丸太町川端東入 761-7372	「1×1=1」 フォトデジタルペインティング 佐藤雅晴展																																				→5/2	
	一心堂画廊 中京区烏丸通六角下ル 211-1013	日本画洋画常設展																																				
芸州堂画廊 中京区寺町二条下ル 231-3613	木版画常設展 (貸画廊受付中)																																					
絵草子 東山区新門前通東山西 551-9137	常設展																																					
延寿堂ギャラリーソフォラ 中京区二条寺町東入 211-5552	休廊		杉江智展 -クリスタルガラスの器- (木曜休廊)												休廊		和田純子展 (耐熱ガラス) (木曜休廊)												→5/12									
御池画廊 北区小山上総町20-2 492-3083	池田良則展																																				→5/3	
カギムラ画廊 中京区河原町四条上ル東入 221-2996	日本画常設展																																					
画廊おかざき 左京区岡崎神宮道西側 761-0027	現代美術工芸作家常設展																																					

企：企画および常設を中心に活動する画廊 貸：貸画廊

何必館で観る・現代美術展
Kahitsukan-Contemporary Art Exhibition

と き／3月28日(土)～5月31日(日) 10:00AM～6:00PM
ところ／何必館・京都現代美術館 (5/4以外の月曜休館)
京都市東山区祇園町北側271 ☎075-525-1311

このたび「何必館で観る・現代美術展」を開催いたします。
何必館・京都現代美術館では、1988年「11人の作家による現代美術1988」という展覧会を開催しました。当時の開催文には「今日ほど私たちの判断力が動揺し衰弱している時代はない。あらゆるものが画一化され、ファッション化し、自分の表情を失いかけているものが多い。美術が何かの目的を持つと純粋にならない。あくまで作家個人の生命の燃焼であり、個性の表現である。」と記されています。

近年、美の表現方法は益々多様化していますが、反面、強固な意思の表現を通じ、根源的な祈る心が見失われ、混迷している様に思われます。

本展では、もう一度「現代美術とは何か」ということを考える機会にして欲しいと願っています。



斎藤義重「複合体104-2」
1983年



李禹煥「風と共に With winds」
1988年



白髪一雄「黄墨」
1987年

渡辺千尋 銅版画遺作展

と き／4月1日(水)～4月19日(日) 1:00PM～7:00PM
ところ／ギャラリー宮脇 (月曜休廊)
京都市中京区寺町通二条上ル東側 ☎075-231-2321

驚くべき想像力と高度な技術により、エンブレイヴィングの傑作を幾点も創り出した孤高の異才、渡辺千尋(わたなべちひろ1944～2009)の展覧会を開催する。

初期のシュルレアリスムの作品では、ビュランによる襞状、波状の影線が延々と生長し、果てしない膨張と変容をくりひろげている。後年は暗部から光をえぐり出したような幻想的表現のメゾチントも手がけたが、2009年に64歳で急逝した。2013年に練馬区立美術館、14年には長崎県美術館で個展が開催されている。

関西初の本格的紹介となる本展では、生涯作品を網羅し、貴重な遺作から約50点を出品する。また寮美千子、鈴木創士特別寄稿掲載したパンフレット刊行する予定。



「風の棲処」1980年
ビュラン30×38cm

- 4月4日午後4時～朗読パフォーマンス：鈴木創士×寮美千子×南野梓 (Vn)
本展に捧げ書き下ろされた詩文を作者自身が朗読。即興ヴァイオリンが伴い、版画芸術に文学と音楽が感応する特別なライブイベント。〈予約制・要問合わせ〉

次展企画

4月23日～4月26日限定特別展示《アール・ブリュット》
11:00AM～7:00PM

◆記念講演開催 4月26日午後3時～

／巖谷國士『アール・ブリュットとシュルレアリスム〈境界〉のない世界へ』
〈予約制・要問合わせ〉



「長崎の基督」2001年
メゾチント25×18cm

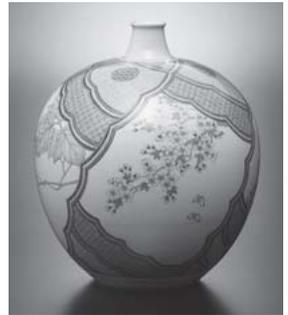
九谷の新しい風 Part.1
赤絵細描の華 福島武山 一門展

と き／4月3日(金)～4月15日(水) 9：30AM～5：00PM
ところ／京都陶磁器会館 (2F) ギャラリー (休館日：4月9日)
京都市東山区東大路五条上ル ☎075-541-1102

350年余の歴史を誇る九谷焼の伝統を継承しつつ、常に新たな創造を目指している九谷赤絵細描の巨匠・福島武山先生。京都陶磁器会館では春のビックイベントとして福島先生御一門の展覧会を開催させていただきます。「赤絵細描」とは九谷三大技法のひとつで、白磁の上に極細の筆を使用し、髪の毛よりも細い赤い線を描きつめて文様意匠を作り上げていく超絶技巧です。福島武山先生は、途絶えていた赤絵細描を独学で習得し、現代へ甦らせた第一人者として2004年石川県の指定無形文化財保持者となられ、後進の指導にも力を入れておられます。古典的な鳳凰や龍、唐子や山水などの絵柄から、幾何学文様や網手を進化させた現代的な文様まで、優美で気品にあふれ、人の目をとらえて離さない存在感はいずれも「福島赤絵」にのみ表現しうる魅力であります。そして「福島赤絵」の魅力を、若い感性でそれぞれに花咲かせている門下生の皆さん。女性らしいおやかさと大胆さで、見る人を惹きつけてやみません。春爛漫の京都・五条坂で、九谷焼の華を心行くまでお楽しみください。

〈福島武山先生による「赤絵細描」ワークショップのお知らせ〉
4月12日(日) 第一部11時から、第二部3時から 参加費お一人様2,000円
福島先生による赤絵の特別講義を開催いたします。
各会限定10名限り。先着順にてお受けいたします。お申し込みは京都陶磁器会館まで。
※なお、会期中(不定期)は、門下生の皆さんが赤絵についての解説を随時してまいります。ご期待ください。

出品者 福島武山先生、河端理恵子、架谷庸子、林美佳里、有生礼子、吉村茉莉
福島先生在廊日 3日、12日、13日



～孤高の仕業～ 上田泰江展

と き／4月4日(土)～4月18日(土) 10：30AM～6：30PM
ところ／蔵丘洞画廊 (会期中無休)
京都市中京区御池通寺町東入 ☎075-255-2232

自然豊かな綾部の山裾にて、日々制作活動に勤しむ上田泰江。
昨年の蔵丘洞画廊における展覧会では、決して高くない知名度とは裏腹に、県外からも含め大変多くの方にお出でいただきました。そして、来廊された方からは新鮮な驚きと共に、非常に高い評価をいただきました。今展はそれから1年を経て、前回に続き奥深い魅力をご覧ください。上田泰江の作品は抽象的な表現の中にも、じっと見ていると具象的なモチーフが見えてくるような、そんな不思議な存在感があります。それは身近な綾部の自然、植物・動物・虫はもちろん天気や日常の道具に至るまで、自らを取り巻くありとあらゆるものを、題材としているからかもしれません。

「これは何が描かれているのか？」ということを考えながら作品を観る私たちを翻弄するように、天真爛漫な作品なのです。真上から眺めた池の中や畑の様子など、上も下もなく描かれた作品はどの方向から見ても構わないように、とあえてサインが別々の方向に入っていることすらあります。また、明るい作品も暗い色使いの作品も、心地よく心に滲み入る色遣いには、取り上げられる身近な物事に対して、いつも暖かい視線が作家が向けていることが投影されているようです。それはビビッドな洋花の華やかさというよりも、野辺の花のような優しさに似ています。

かつて、作家は新宿にあった杏美画廊にて展覧会発表を続けていました。同画廊での展示発表をしていた野見山曉治氏には内心親しく思う気持ちもあり、高齢ながらも毎日キャンパスに向かう姿を最近テレビで見て、励まされたような気分になることがあったようです。

彼女もまた、長い作家活動の中で培われた「自らの思う美しさ」を流行に流されることなく、さらに求め続け、またのびのびと表現していかれることでしょう。そうして制作された作品の一端を、花が咲き草萌ゆるこの季節に展示出来ますのはとても良い機会だと思います。

是非ともご高覧いただき、無欲無垢な芸術の姿をご覧いただきたいと存じます。



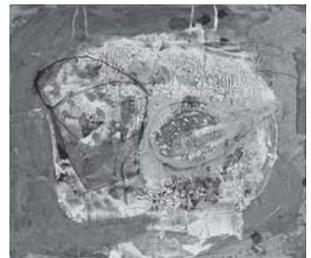
〔春日〕 SM



〔ナベ〕 SM



〔外の風〕 27.4×48.5 cm



〔夏の朝〕 10F



〔鳥の話〕 10F

井上隆夫 一黙する言語 〈故郷の岸辺〉
an:plied object 〈:n shore of my homevillage〉

と き／4月14日(火)～5月10日(日) 12:00～18:00
と ころ／ギャラリー白川 (月曜休廊) (東山安井信号東入ル南下ル)
京都市東山区祇園下河原上弁天町430-1 ☎075-532-2616

5月10日まで開催される「PARASOPHIA京都国際現代美術祭2015」に寄せて企画した、井上隆夫一黙する言語〈故郷の岸部〉展のご案内です。

京都市立芸術大学で日本画を学んだ井上は、40歳の時、日本画から現代アートへ転向。以後、和紙や古紙を表現素材に新たな視点を提示する作品を次々に発表していきます。近年は、人の営みの中で役目を終えた「廃材」を今日的媒体である「広告紙」で作った紙粘土で再現。〈黙する言語〉と名付け、私たちの過去の日常をつなぎ人の営みを顕在化しようと試みます。

今展で発表する「黙する言語〈故郷の岸辺〉」では、彼を育んできた故郷〈琵琶湖〉の波に揉まれ、岸辺に打ち上げられた小舟の一部や櫂(オール)などの「廃材」を再現しています。ギャラリー白川では、3回目の個展です。是非、ご高覧くださいませ。



『あの時、岸辺に漂着した「もの」たちはみな子ども
の手に優しくかった。

波があらかじめ見越していたからだ。幾年がすぎ行
きてもなお「もの」たちは、数々の忘却の物語を蔵し
ている図書館だ』 井上隆夫

〔略歴〕 主な受賞歴：

1994年第4回紙技大賞展・大賞受賞。同年、サントリー美術館大賞展 2000年 東海
テレビ「現代・墨への挑戦」奨励賞、2012年 第21回紙技大賞・大賞受賞。他。日本、
韓国、アメリカ、フランスと国内外で個展多数。



黙する言語〈時を幣に〉
20×87×94cm 24kg
素材：新聞折込広告

現代の日本画 一世代をつなぐ一

と き／4月7日(火)～4月12日(日) 12:00～19:00
と ころ／ギャラリーヒルゲート
京都市中京区寺町三条上ル ☎075-231-3702

「琳派400年」|「京都国際現代芸術祭・PARASOPHIA」という二つの大きなア
ートイベントに沸く春の京都。琳派はもとより京都に脈々と生きつづけてきた日本
画の伝統をもとに、その表現は思想においても技法においても益々多様な広がり
を見せています。60才代から20才代まで、個性的な活動を展開する作家たちの仕事
は、いずれも「現代の日本画とは？」という問いを内包しているように感じられます。

世代をつなぐ“日本画”というキーワードを共に考え、各々の表現を楽しんで
いただける場になれば幸いに存じます。

ギャラリーヒルゲート

〈出展作家〉(年齢順)

八田 哲・畠中光享・山本俊夫・今尾栄仁・久野隆史・田島周吾・ベリーマキコ・
野上 徹・岩井晴香



八田哲「夜」50号

〈トーク〉

1) 出展作家によるギャラリートーク

4月7日(火) pm. 6:00～6:40頃まで
その後、作家を囲んでオープニングパーティー

2) 夜話市民講座Bコース

4月11日(土) pm. 6:30～8:00 ギャラリー1Fにて
講 師：畠中 光享

タイトル：「ほんまにこれでいいの？—京都の美術、日本の美術を考える」

定員45人(要申込) 参加費1,000円(学生500円)



畠中光享「女と猫」
117×80cm 2014年

〔今月の展覧会より〕

第20回 近代絵画作品展

と き／4月11日(土)～4月26日(日) 10:00AM～6:00PM
ところ／ギャラリー鉄斎堂(会期中無休) ☎075-531-6164
京都市東山区新門前通東大路西入ル梅本町262

恒例の近代絵画作品展も今回で20年が経ち20回目を迎えることができましたのも皆様のご支援の賜物と存じ上げます。今回も大正時代の近代絵画の幕開けから昭和末迄の日本画を中心とし1万円から1000点余りを真蹟保証で展示即売させていただきます。春のひとつお誘い合わせの上、お気軽に来店くださいませ。尚、今回20回を記念して1万円以上お買上げのお客様に、もれなく粗品を進呈させていただきます。

主な出品作家 竹内栖鳳、小野竹喬、村上華岳、富岡鉄斎、福田平八郎、橋本閑雪、堂本印象、徳岡神泉、入江波光、池田遙邨、秋野不矩、山口華楊、山元春挙、横山大観、伊東深水、川合玉堂、前田青邨、安田靉彦、中川一政、香月泰男、脇田 和、棟方志功 ほか

蘇山、竹泉、永楽、六兵衛、竹雲斎、弥弍、鈴木蔵、隠崎隆一、深見陶治、藤田喬平 ほか

*近代絵画作品展図録 3000円にて販売致します。(438点掲載・A4変型サイズ)



小野竹喬「桜」



永楽即全 茶碗 鵬雲斎書付



伊東深水「好日」



香月泰男「つつじ花」



富岡鉄斎
「撥雲尋道図」

e・g・g・o 0044 奥田一生展

と き／4月16日(木)～4月25日(土) 10:00AM～6:00PM
とこと／大雅堂／1F展示室(会期中無休)
京都市東山区祇園町北側301-2 ☎075-541-7388

この度、「e・g・g・o 0044 奥田一生展」を開催致します。
繊細なタッチで植物や生物が躍動する世界を描かれる奥田先生。作品一つ一つから発信されるストーリーと併せてお楽しみ頂くことが出来ます。是非この機会にご高覧下さいませ。

〈日頃の制作モチーフ・コンセプト〉

個人制作の際には、神話や伝承や伝説、また言葉選び等をお借りして現在の環境と組み合わせストーリーを作り、過去や未来の私が決して見る事の出来ない風景、世界を描いております。

またその風景、世界の中で人を含めた生物の力強さ、美しさをテーマに絵を描いております。

〈作家在廊予定〉

4月19日(日)～22日(水) 予定(都合により変更の場合あり)

〈出展作品について〉

B1～A1サイズの作品を4、5点程 大作を3点程

他小作品10点程を予定

【奥田一生略歴】

1986生まれ 奈良県在住

2012年3月京都市立芸術大学大学院修士課程絵画専攻卒業

現在学校法人上田学園 大阪総合デザイン専門学校 常勤講師

株式会社memes スクエアー・director

【受賞歴】

神戸ビエンナーレコミックイラスト部門準大賞

ASIAGRAPH 2013年度 Cgアートギャラリー公募展示部門／優秀作品

GEISAI#18 / pointranking10位受賞

コミックアート賞012 / グランプリ コミックアート賞受賞

第13回インターナショナル・イラストレーション・コンペティション／優秀賞受賞

青空文庫 有名表紙絵コンテスト／佳作

東京装画賞2013 / 入選

詩とファンタジー / 入選

第4回イラストレーターズ通信コンペ / 入選



奥田一生「冷厳」
103cm×72.8cm

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
企 GALLERY FUKUMI SHIMURA 左京区岡崎神宮道西側 746-3303		志村ふくみ・洋子の作品常設展																														
貸 企 ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 221-0117	3F	鄭謙恵 展 (陶)					裴貞順 (インスタレーション) (月曜休)					マッチ展 (月曜休)										→5/3										
	4F	柿崎均 展 (ガラス)					大谷一生・敏子 展					安見友太 展 (木彫)					安見友太 展 (木彫)					KG+展 (写真)					→5/3					
	5F	ART de SHIBORI 100展 (絞り染)					山本雄教 展 (日本画) (月曜休)					岡田露愁 展 (平面・立体) (月曜休)										→5/3										
貸 企 ギャラリーみすや 中京区三条河原町西入 211-5997							コムラトリ					美友会					花梨の会					櫛の会					→5/3					
企 貸 ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348		松永恵子 墨彩展					心の彩 笠井季美展					小畑旦子 陶展 (月曜休廊)					工藤和彦 陶展										→5/10					
企 ギャラリー洛中洛外 山科区清水焼団地内 595-5450		谷口左和子 陶展																														→5/6
企 貸 ギャラリー龍馬 河原町三条下ル東入 211-7700		龍馬と酔屋 常設展 (水曜休廊)																														
企 ギャラリー正観堂 東山区切通新門前上ル 533-4110		常設展 (石川九揚、兒山重芳などを中心にした)																														
企 ギャラリー宮脇 中京区寺町二条上ル 231-2321		渡辺千尋銅版画遺作展 1:00~7:00 (月曜休廊)															アール・ブリュット (限定特別展)															
企 貸 ギャラリー百音 (もね) 左京区岡崎神宮道東側 708-2138		アンティークマイセン&ガレ・ドーム 天田毅 青白磁展 (13.20.27休廊)																														
貸 企 ギャリエ ヤマシタ 中京区寺町三条上ル 231-6505	1号館 1F	山本春光「天空書」展															HILOKI 銅展 scene6 "門"															→5/3
	2F	寺田みのる京滋教室展 (水彩)										木版画 春の作品展 雅堂会																				
	1F	第24回 山本文子個展										陽風会 作品展										藤夢会&金原保則合同展 (日本画)										→5/3
	2号館 2F	大將軍小学校卒業60周年記念 有志作品展										黄野俊明 油彩画展										無重力家族 (写真)										→5/3
貸 企 京都ギャラリー 中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435		貸ギャラリー受付中																														
企 京都芸大ギャラリー-アクア 中京区御池通堀川東入 334-2204		PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭特別連携プログラム/京芸 Transmit Program#6 京都市芸術大学移転プロジェクト「still moving」建島哲退任記念展「POETRY/ART」(月曜休廊)																														→5/10
企 京都芸術センター 中京区室町蛸薬師下ル 213-1000		PARASOPHIA連携プログラム 川村麻純「鳥の歌」																														→5/10
		PARASOPHIA連携プログラム 2015 アーノウト・ミック《異言》																														→5/10
会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金		
企 京都陶磁器会館 東山区東大路五条上ル 541-1102	1F	陶・三人展 (木曜休廊)															常設展示 (木曜休廊)															
	2F	福島武山一門展 (木曜休廊)																														
貸 企 京都万華鏡ミュージアムアートスペース 中京区姉小路東河原東入 254-7902		峰月水墨画 教室作品展					SKY墨彩 会書展					ヤマトアートカレッジ 認定講師作品展					小さな粘土の会 作品展					特別企画展 (仮称) 琳派の世界 村田好謙					→5/10					
企 COHJU contemporary art 中京区丸太町寺町西 256-4707	1F	坪田昌之展 振動する領域																														
	2F																															
貸 企 堺町画廊 中京区堺町御池下ル 213-3636		催しを不定期で開催しています。詳しくはHPで sakaimachi-garow.com																														
貸 企 里見有清堂 中京区堺町三条上ル 221-5423		貸画廊受付中																														
企 蔵丘洞画廊 中京区御池寺町東入 255-2232		常設展					上田泰江展										常設展 (日曜休廊) 蔵丘洞ノ棚コーナー (26日休廊)					休廊					→5/6					
企 大雅堂 東大路通祇園上ル 541-7388		常設展 (コンセプトチュアルリズムアート) (日祝休廊)										e.g.g.o 0044 奥田一生展										常設展 (日祝休廊)					G.W休暇					→5/6
企 梅軒画廊 中京区烏丸四條上ル 221-3510		日本画・洋画 常設展 (休廊日:日・祝祭日)																														
貸 企 ポルタギャラリー華 下京区京都駅前地下街 365-7533		七宝・二人展 阪本順子・山中佐智子					新鋭鉦石画三人展 二神奈穂・平田祐子・ぐり友里										箔画 野口康・琢郎展										→5/10					
企 星野画廊 東山区神宮道三条上ル 771-3670		明治・大正・昭和名作発掘品展 (日曜・月曜休廊)																														
企 松本松栄堂 中京区寺町夷川上ル 212-0626		新古書画常設展																														
企 MAEDAHIROMI ART GALLERY 中京区河原町二条上ル 741-8757		常設展示																														
貸 企 まるごのギャラリー 中京区姉小路寺町東入 744-0105		浅川朗 銅版画展					貸ギャラリー受付中																									
企 村田画廊 左京区松ヶ崎泉川町18-4 703-8960		常設展 (火・祝休廊)																														
貸 企 ヤマトギャラリー 中京区姉小路寺町東入 231-2341																	その瞳の先に有るもの2 平寿夫 (写真による個展)					JPCoGallery in KYOTO 写真展										→5/3

発行: 京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内 (☎222-0895)
 [京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中] 1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊 (☎771-3670) まで振込用紙をご請求ください。
<http://www.kyoto-art.net/>